



帯広市では、社会総掛かりで子どもの学びと育ちを支える仕組みづくりを進めています。コミュニティ・スクール（CS）は、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもを育んでいく取り組みです。

『学校・家庭・地域の連携・協働した活動』の充実に取り組んでいます

帯広市では、「どのような子どもを育てるのか」という「目指す子ども像」を共有し、『学校・家庭・地域の連携・協働した活動』を一層充実させていくため、CSを導入・推進しており、これまでのCS通信では、各CS協議会の取り組みや研修会などについて、紹介してきました。

今回は、CS導入・推進以外に『学校・家庭・地域の連携・協働した活動』の充実に向けた取り組みの一部を紹介します。

取り組みやボランティア募集の広報活動をしています

帯広市では、CSや『学校・家庭・地域の連携・協働した活動』の概要や、実際の取り組みを幅広く伝えるため、活動紹介の動画を公開しています。



CSの動画解説はこちら→



放課後子ども広場の
←動画解説はこちら



また、9月には学校地域に係るボランティア活動内容の紹介及びボランティア募集のチラシを全戸配布しております。ボランティアは募集中ですので、希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。



団体同士が連携した活動を交付金により支援します

子どもに係る活動をしているボランティア団体が「他の団体や、学校と連携した新たな活動をしてみたい」「これまで行ってきたイベントをもっと多くの団体と連携して取り組みたい」など、団体同士が連携した取り組みをより充実させるため、「こども学校応援地域基金」を活用した「こども学校応援地域交付金」があります。



ウォークラリー（啓北小学校区）



クリーン作戦（緑丘小学校区）

交付金を活用した取り組みの紹介や申請期間など詳細については、広報おびひろ4月号に折り込みを予定している「こども学校応援地域基金プロジェクト」チラシをご覧ください。

研修会に関するアンケートのご意見を紹介します。

帯広市CS通信Vol.9に掲載している研修会についてのアンケートでは、様々なご意見をいただきました。一部ではありますが、ご意見を紹介します。

- 学校評議員と学校運営協議会委員との違いがよくわかりました。CS開始にむけ、PTAを含む地域の方々が集まり、地域の子供がどのように育ててほしいか考え、熟議したのがすごいと感じました。
- コロナ禍より以前に、色々な集まりで顔をあわせていた方々と再会でき、また以前のように地域での活動のヒントを得たり、交流が始まるような雰囲気が感じられ、エネルギーになりました。
- CSになって、学校と地域と一緒に話し合える機会があるので、解決には至らなくても、お互いに悩みや希望を本音で語り合えるような会議になればよいと思う。 ・地域人材、後継者の育成が課題です。
- CSの現状と課題について、各CSの取り組みを共有できる機会があるといいと思います。

皆様からいただいたご意見を参考に、今後の研修会などの企画を行っていきます。アンケートにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

【発行・問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課

TEL : 0155-65-4162

Email : school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

帯広市 コミュニティ・スクール

検索 🔍

(令和5年3月15日発行)

